

スタートアップ深層 ～ 世界が注目する理由に迫る ～



独自の AI リスクエンジンを用いた
オンデマンド型保険ソリューション



都市のスマート化を可能にする
プラットフォームソリューション

毎年多くのスタートアップ企業が誕生するイスラエル。革新的な技術やプロダクトを生み出し、世界から注目を集めているスタートアップの中から、今回、Demandoo 社と RoadSense Advanced Technology 社の 2 社に彼らの創業過程や事業戦略、今後の展望、さらには日本市場への思いや本音を聞いた。

1.

Demandoo Ltd.

Mr. Dean Stern

Co-Founder & CEO

独自の AI リスクエンジンを用いてオンデマンド型保険ソリューションを開発

Demandoo 社（以下：同社）は、独自の AI リスクエンジンを活用し、ユーザーそれぞれが独自にメリットを生み出す為のオンデマンド保険ソリューションを提供している。



同社が開発した独自の AI リスクエンジンは、複数のデータソースと組み合わせることで、保険会社から被保険者までのバリューチェーン全体に対してコストメリットや顧客満足度の向上を提供することが出来る。

今回は、CEO である Dean Stern 氏に取材を行なった。

デジタル社会に対応する保険ソリューションの提供を目指し創業

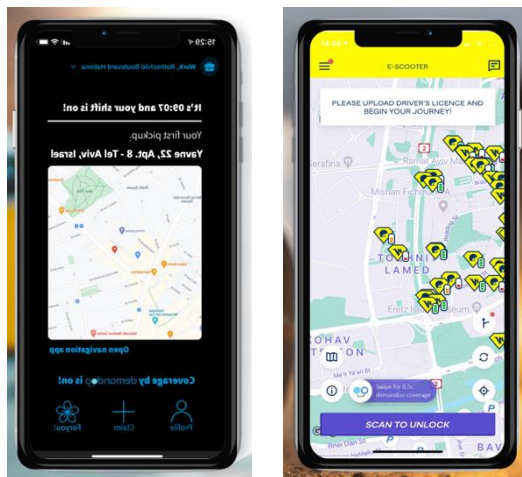
同社のCEOであるDean Stern氏（以下：同氏）は、レジャー、健康、食品、エンターテインメント、テクノロジーなど様々なライフスタイル分野において、成長段階にあるビジネスに対して投資を行なう「Stern Global Group」の創業者であり、消費者の移りゆくニーズ動向を長年追ってきた専門家である。

昨今急速な成長を遂げるギグエコノミーやモビリティシェアリングなどに対して、従来の保険プランでは対応が間に合っておらず、デジタル中心となりつつある現代の社会生活にも対応し得る革新的な保険ソリューションへのニーズが高まっていると同社は分析している。また、保険が必要となるケースにおけるリスクが、一時的で継続的では無いことが最近の特徴として挙げられる。これに対し「パラメトリック型」と呼ばれる事前に想定されたシナリオに対して決められた額を支払う簡素化されたプロセスが、より必要とされているという。

保険ソリューションプロバイダーとしての独自性

競合他社と同社の製品を比較した際の独自性は、主に3つある。1つ目は、オンデマンド型保険ソリューションを手頃な価格で提供し、かつパラメトリック型に対応している点である。2つ目は、独自に開発したAIリスクエンジンを分かりやすいユーザーインターフェースに統合した点である。最後に、同社のソリューションは、拡張性が高く、今後登場する新たなセグメントに対しても容易に保険商品を追加できる点が独自の点といえる。

現在、同社は主に技術開発を進めつつ、イスラエル国内における保険仲介に関する免許の取得や拡販パートナーの開拓などに取り組んでいる。年内には、本格的なサービスのグローバル展開を目指している。



Dean Stern 氏

CEO から日本企業に向けたメッセージ

弊社はアーリー段階の企業として、投資家や協業先との新たなパートナーシップを築きたいと考えております。日本は、弊社が想定する非常に大きなマーケットの一つであり、将来的により大きな展開を目指しております。

<https://demandoo.com>

2.

**RoadSense Advanced
Technology Ltd.**

Mr. Baruch Gueta

CEO

都市をスマート化

RoadSense 社（以下：同社）は、強力なバックエンドを強みとし、公共空間の監視と分析をするためのプラットフォーム（PaaS/Platform as a Service）を提供している。また、同社が使用するIoT センサーは省エネでどのような天候にも耐えることができるため、都市のいたるところに設置することが可能である。人や車両の動きを感知し、常に安全性を測ることで、都市開発に貢献する。



今回は、同社の CEO である Baruch Gueta 氏に取材を行なった。

柔軟性の高いプラットフォーム

都市がこれまで以上に急速に成長し、メガシティを形成するにつれて、都市のウェルビーイング、安全の維持や運用を強化するための新しい技術ツールが必要となってきた。同社のプラットフォームは、道路や街路などの公共空間からリアルタイムにデータを収集し、クラウド上で AI や機械学習を用いて分析し、顧客がデータに基づいた意思決定を行えるよう支援することを目的としている。あらゆる都市に適合し、人とモビリティに関連する無数の事象を監視して課題を解決する。また、都市のウェルビーイングを高め、事故を減らし、二酸化炭素排出量の最小化に貢献することでプラスの影響を社会に生み出す。



IoT センサーを使用するメリット

近赤外光や紫外線などのレーザー光を用いた LiDAR（ライダー）は、悪天候時や昼夜を問わない監視の実施が難しく、さらに従来の監視カメラによる映像撮影には、プライバシー侵害の問題があった。

同社のソリューションは、IoT センサーを使用することでこれらの問題を克服している。このセンサーは、低価格かつ小型であり、太陽光や風力でも充電することが出来る上、メンテナンスフリーである。またカメラを使用することがないため、高精度でありながらも個人を特定する情報を取得することがない。



Baruch Gueta 氏

CEO から日本企業に向けたメッセージ

弊社のプラットフォームは、スマートシティのみならず、倉庫や海港をはじめ、国土安全保障にも貢献することができます。イスラエルやアメリカで既に実証実験を進めており、今後の世界展開にあたって、日本でも弊社のプラットフォームを導入できることを期待しています。

<https://www.roadsense.tech/>